

# 通常の学級と通級による指導の 連携と『学びの連続性』

新潟大学教職大学院

長澤正樹



# インクルーシブ教育システムの概念図

地域(保健圏域など)

連携

・保護者  
・関係機関  
校内体制

特別な場での教育

特別支援学校

個別計画

支援会議

特別支援学級  
通級指導教室

子どものニーズにあった  
カリキュラム  
(カリキュラムの修正)

合理的配慮 基準の変更  
段階的な対応  
障害特性にあつた指導

特別な対応

交流・通級

学習のユニバーサル  
デザイン(UDL)

通常学級での基本的対応

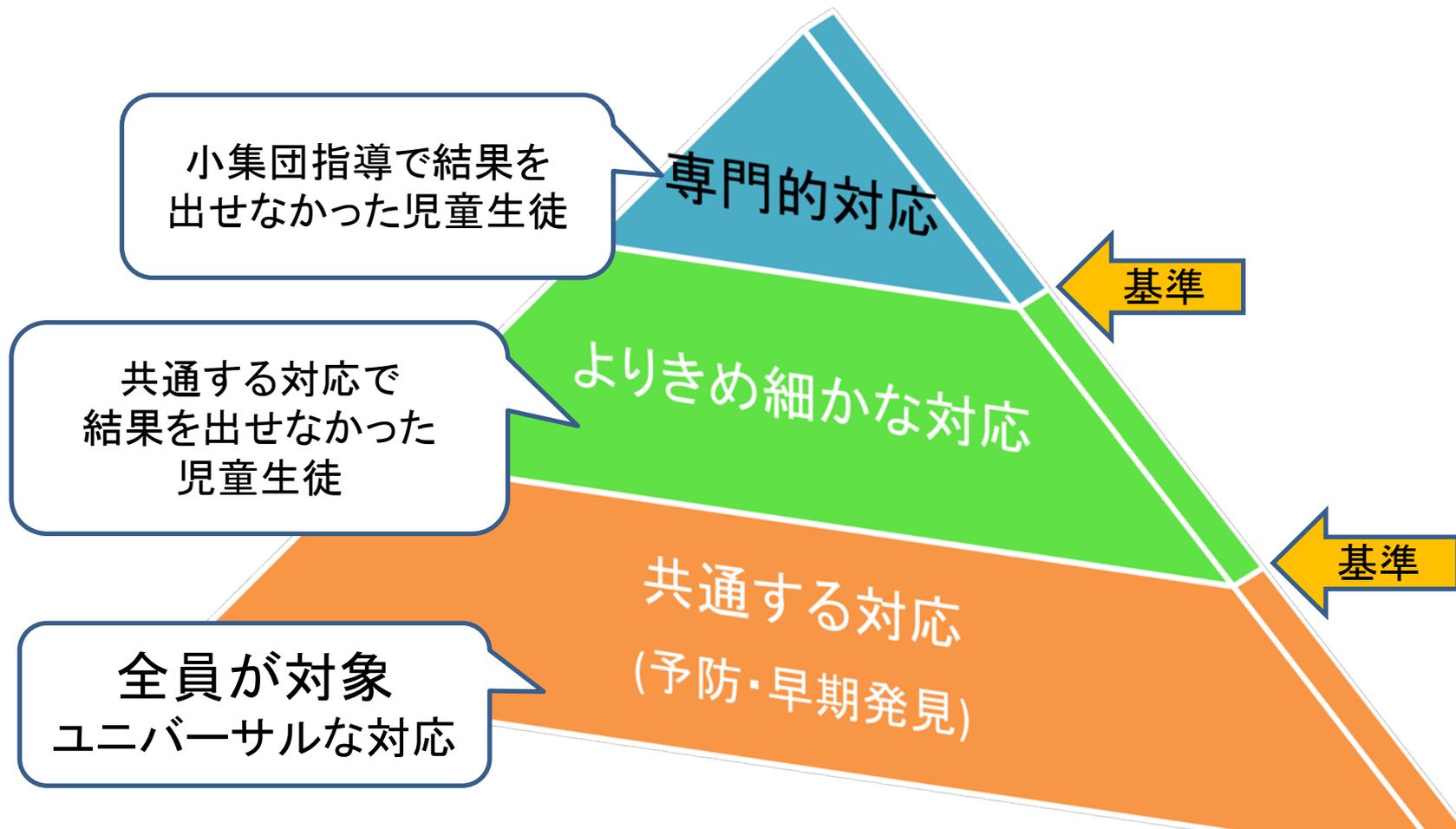
自己肯定感・自己決定

教育サービスの連続性

どの場であろうと子どもを伸ばす

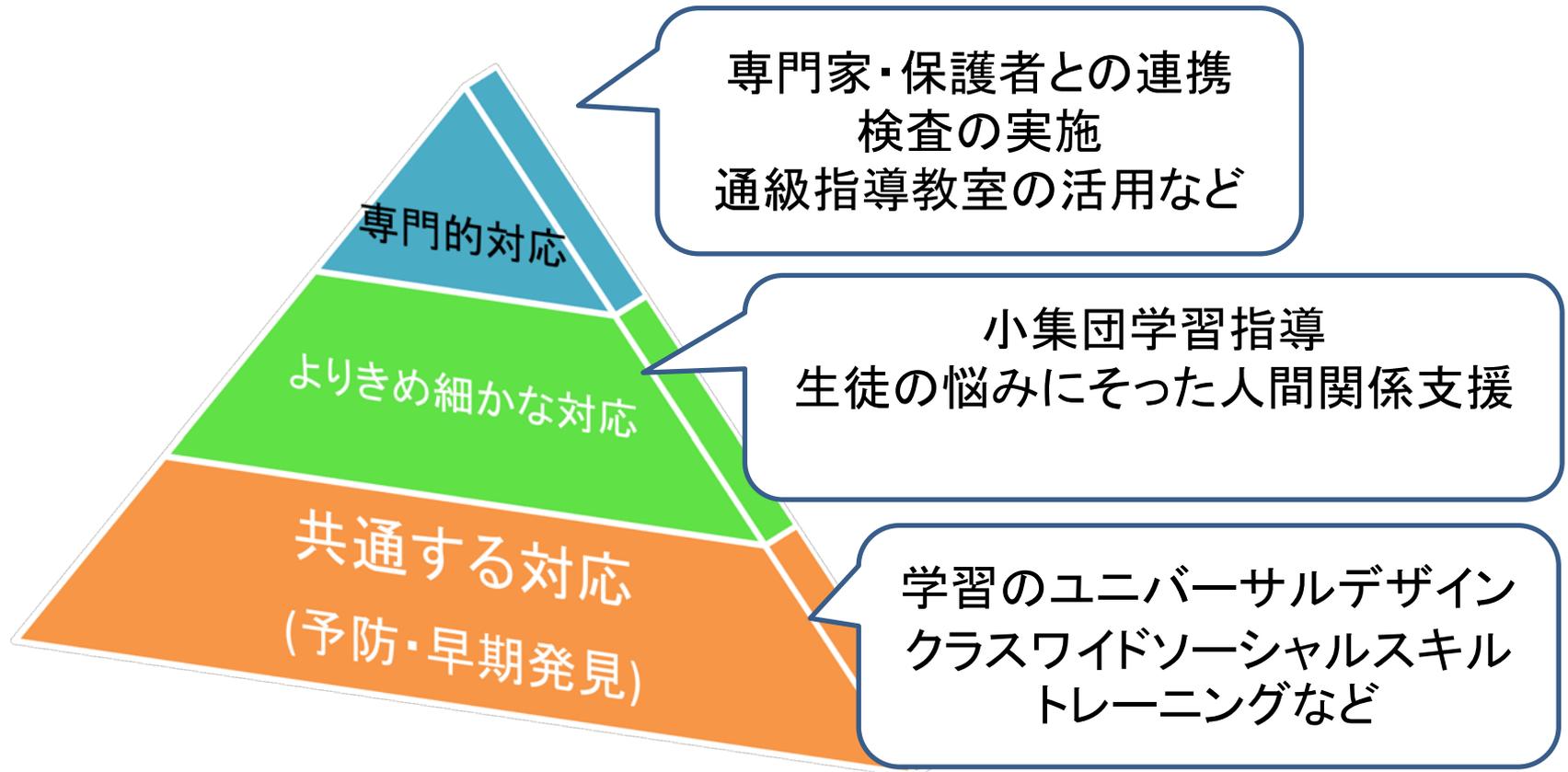


# 通常の学級で、特別な教育を



三層モデルと基準について、説明責任を果たすこと

# 三層モデルとは



障害によって区別するのではない。「結果」で区別する

# 1.学級全体で取り組むSST

- 年齢相応の人付き合いの仕方や良好な対人関係を築くために、具体的な技能や話し方をクラス全体で学習すること
  - 例)あったかことば・ちくちくことば
  - 例)いじめ防止プログラム
- 望ましい児童生徒像を示し、計画的に実施すること
- 実生活に生かされる工夫を



特別活動や学級活動など、他の活動とのつながりを

# 新潟県立燕南小学校の実践

- 構成的エンカウンターを柱に、他の活動と関連づけを明確にし、学校教育全体通して社会性の育成を図っている。
- そのためのカリキュラムを開発中
- 関連する研修も計画に入れる

## 2. 子どもの悩みに対応

- かかわりや問題対処の仕方援助を提供

状況に合わせたコミュニケーションの仕方など

- 誤ったときにやり直せる援助を提供

具体的で実行可能な方法。事前に教える

- ソーシャルスキルを学ぶ機会を提供

小グループ、個別に学べる機会を保障する

学級担任(学年)として対人関係支援のよりきめ細かな対応を

# 3. 通級指導教室でのSST

## <ソーシャルスキル>

傷ついた友達を慰める  
お年寄りに席を譲る  
落とし物を届ける  
いじめられている友達を助ける

## <社会性>

例:おもいやり

## ソーシャルスキルトレーニング

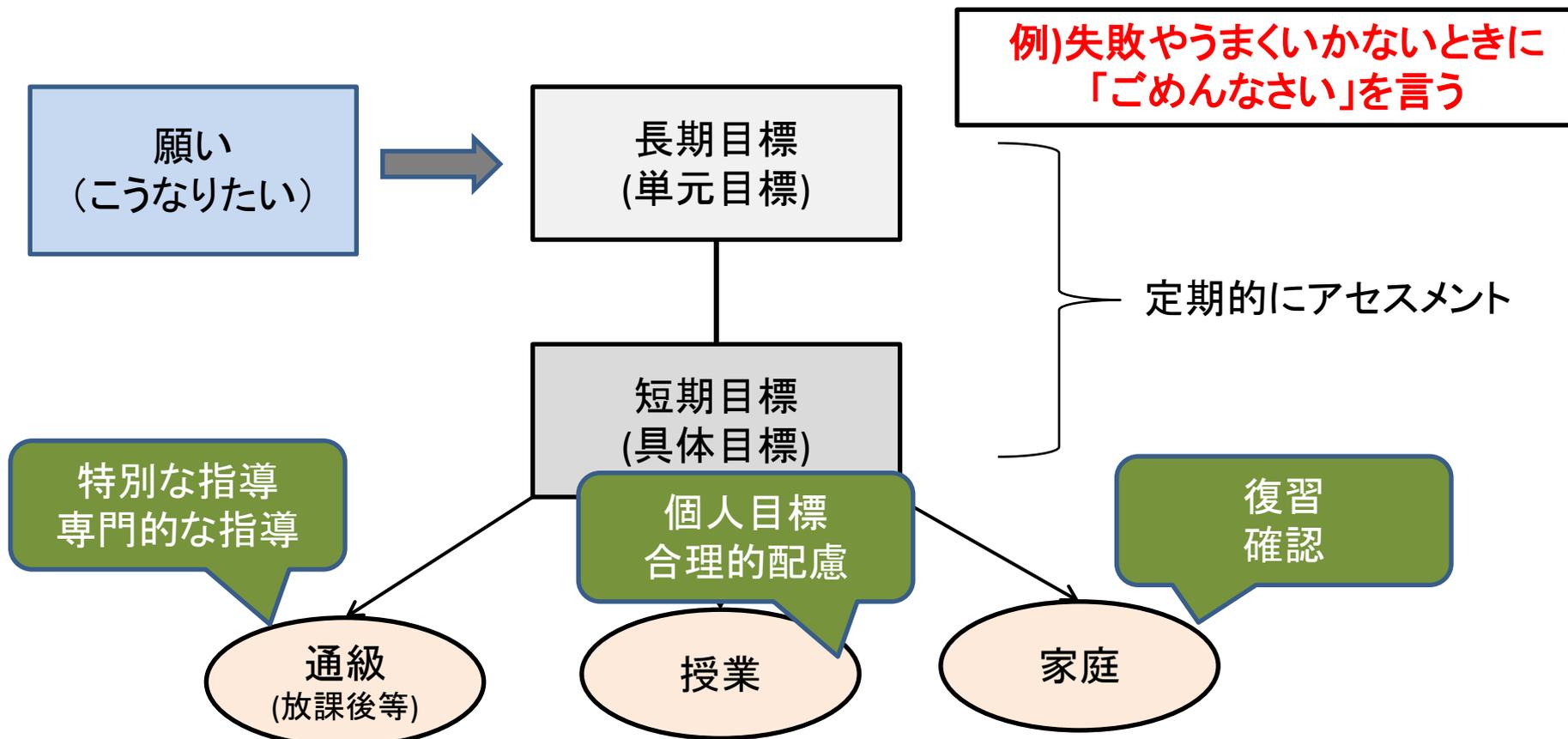
説明を聞く  
練習する(ロールプレイ)  
評価(いいところを見つける)  
日常場面で実行する

通級指導  
教室で指導

通常学級で  
指導

通級・通常・家庭の三者の連携で行動般化を

# 個別の指導計画



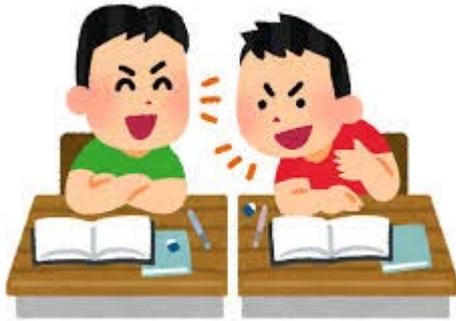
例)失敗やうまくいかないときに「ごめんなさい」を言う

ロールプレイで「ごめんなさい」 昼のトラブルで謝罪する うっかりミスで謝罪する

ニーズに基づく長期目標。達成可能な短期目標。指導の場の役割分担

# スクリプト(シナリオ)によるSST

場面	本児	同級生
朝・教室にて	<p>「おはよう」</p> <p>「昨日の〇〇(テレビの番組)見た？」</p> <p>①「〇〇がおもしろかったよね」</p> <p>②「△△がかっこよかった」</p>	<p>「おはよう」</p> <p>①「見たよ」</p> <p>①「僕は△△がおもしろかった」</p> <p>②「見なかった。どうだったの？」</p>



① 日常生活から  
必要なソーシャルスキルの  
選択

④ 教室で実践

③ 通級指導教室で実践

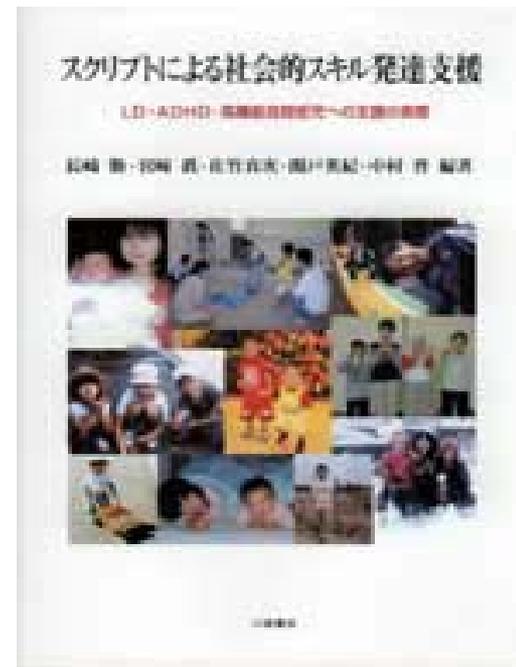
② スクリプト  
(シナリオ)の作成

場面	本児	同級生
朝・教室にて	「おはよう」 「昨日の〇〇(テレビの番組)見た？」 ①「〇〇がおもしろかったよね」  ②「△△がかっこよかった」	「おはよう」 ①「見たよ」  ①「僕は△△がおもしろかった」 ②「見なかった。どうだったの？」

日常場面への般化を取り入れたSST:スクリプトによるコミュニケーション訓練

# 参考図書

- スクリプトによる社会的スキル発達支援  
– LD・ADHD・高機能自閉症児への支援の実際
- 川島書店



# 良好な連携のためには

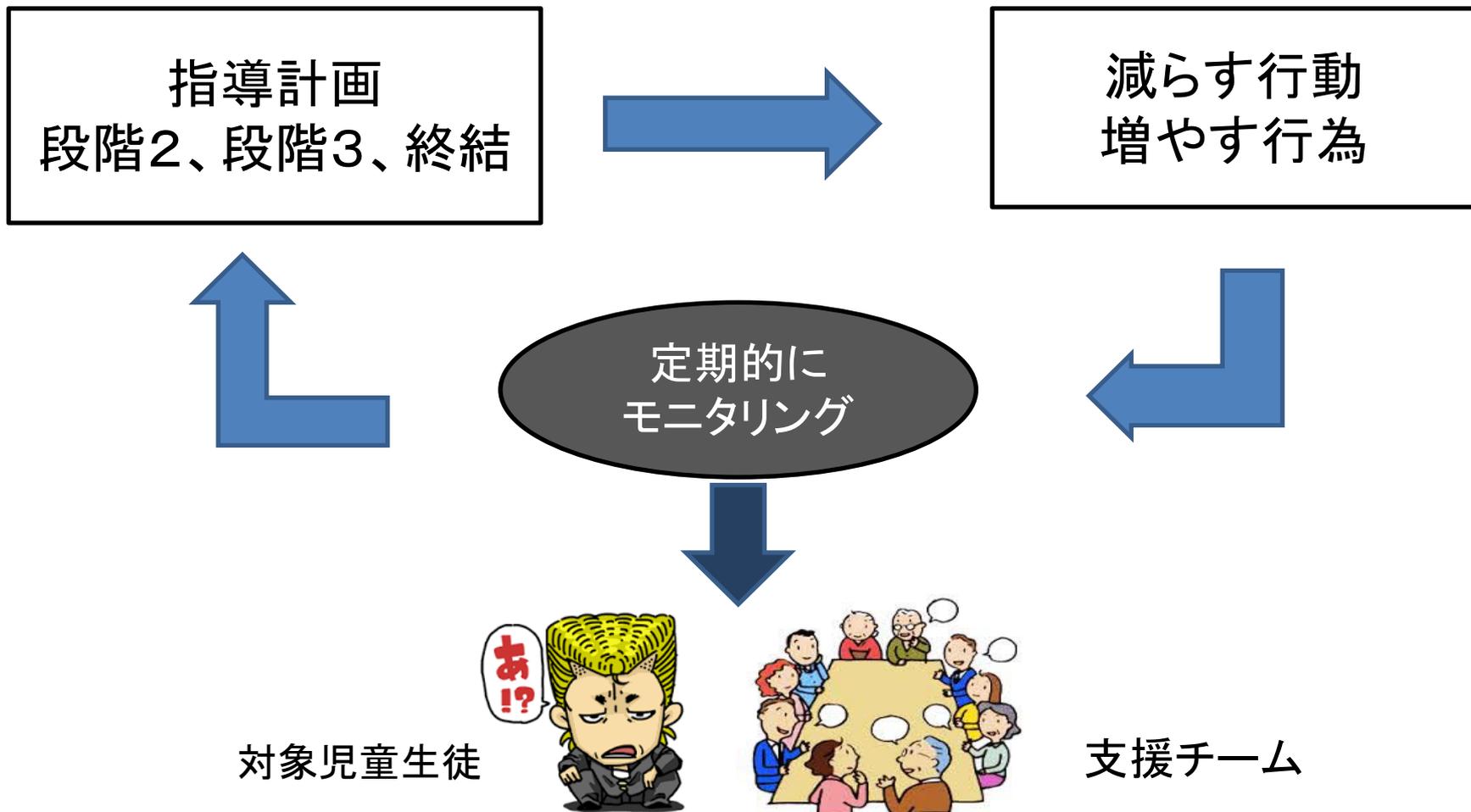
- 通級指導教室: 専門的な指導、訓練
  - 自立活動: SST、自己管理、感情のコントロール
- 連携のために
  - 支援チーム、支援会議
  - 個別計画の作成と評価
  - 通常学級におけるコーチングの実施

子ども・保護者・通常学級担任のニーズを指導につなげる

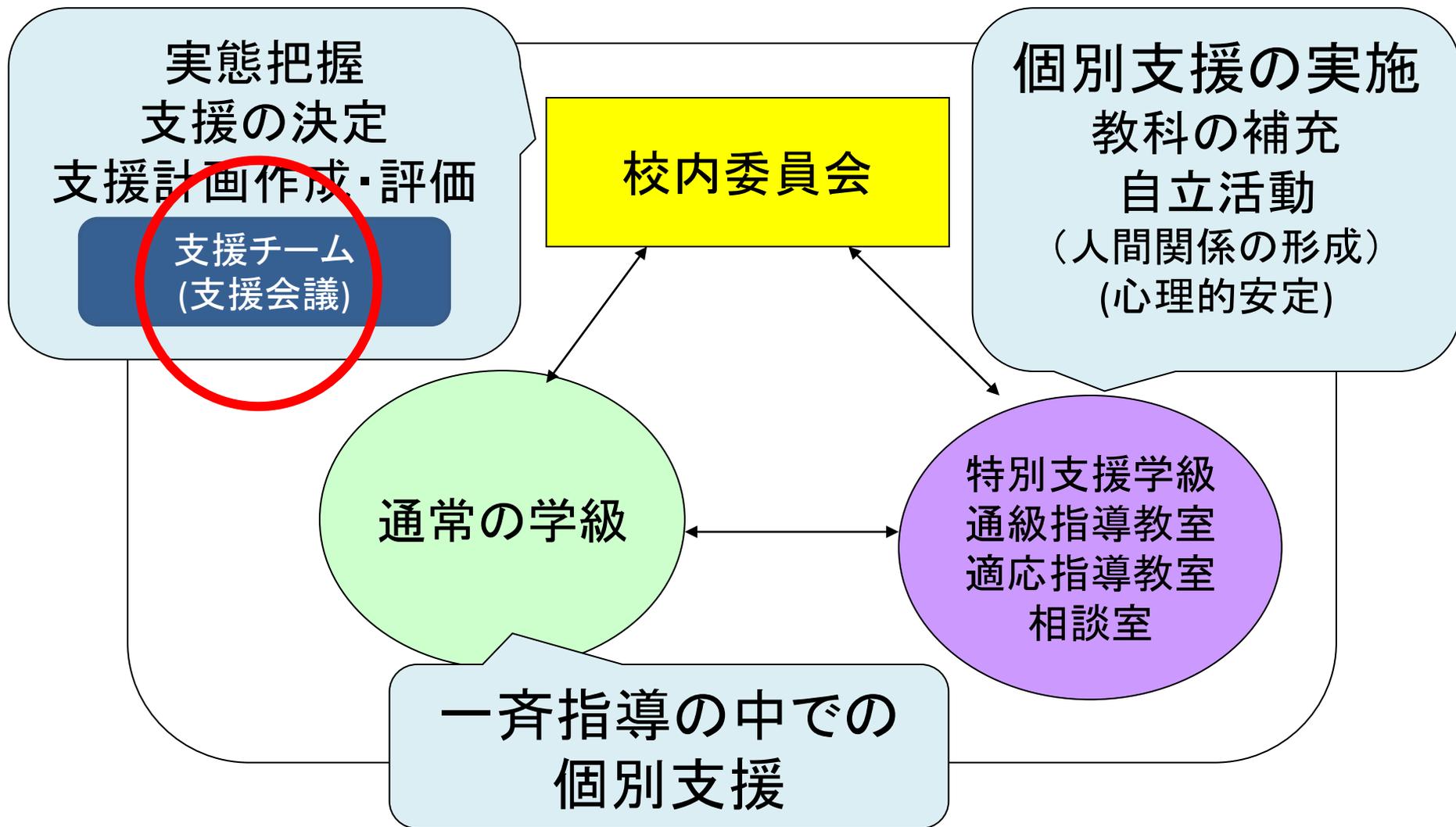
通級の指導を通常学級・家庭でも実施する

関係者間のコミュニケーションを密にすること  
担当者、担任が双方の指導の場を直接見学

# 結果に基づく実践 (PDCA)



# 小中高等学校：校内支援体制の構築

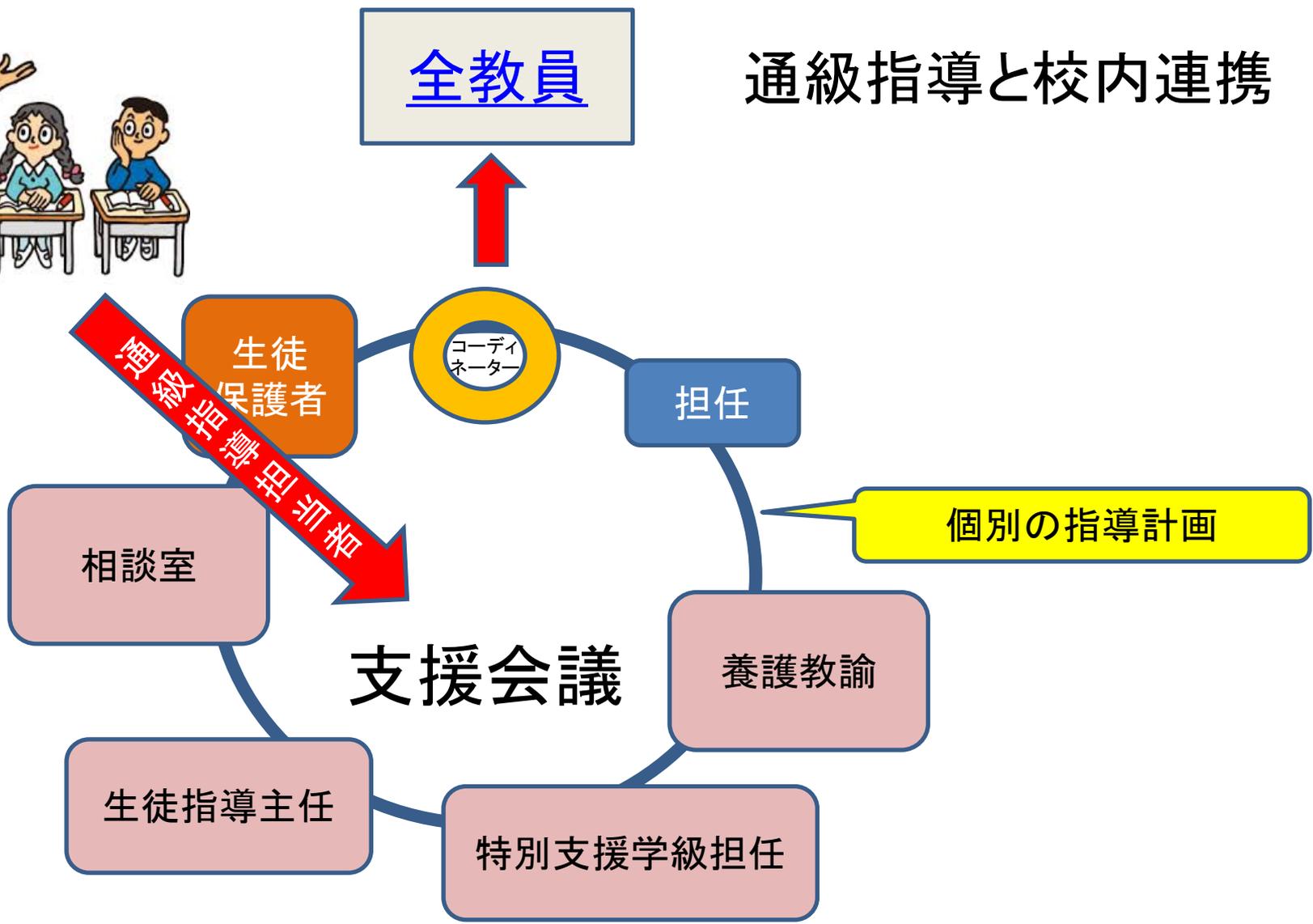


校内委員会で校内支援体制の構築を検討



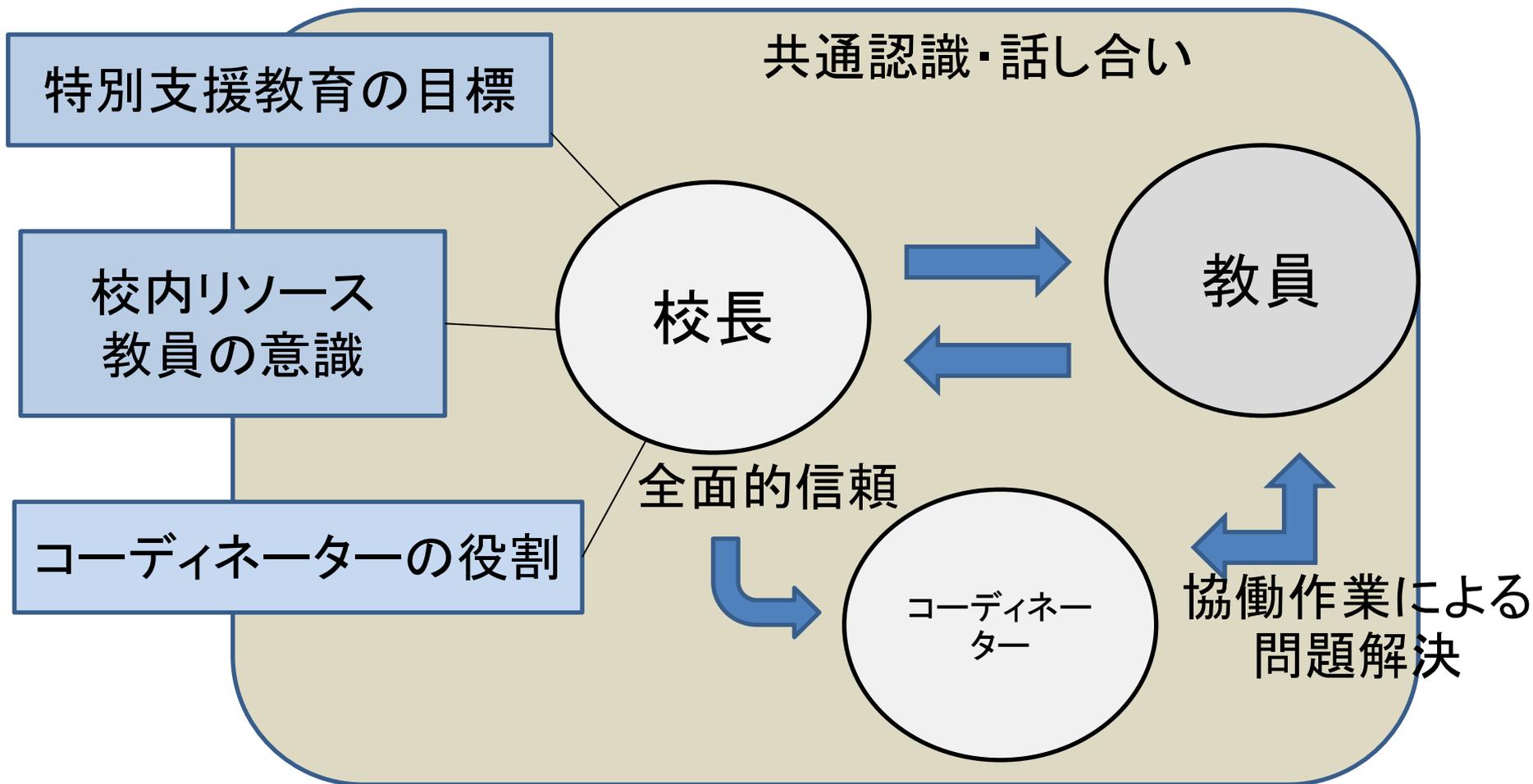
全教員

通級指導と校内連携



子どもを語る会、教員研修、個別の指導計画

# (参考)コーディネーター、管理職の役割



# まとめ

- 学校全体で社会性を育てる

通常の学級での指導に基づく三層モデル

- ひとつの目標に複数の指導の場

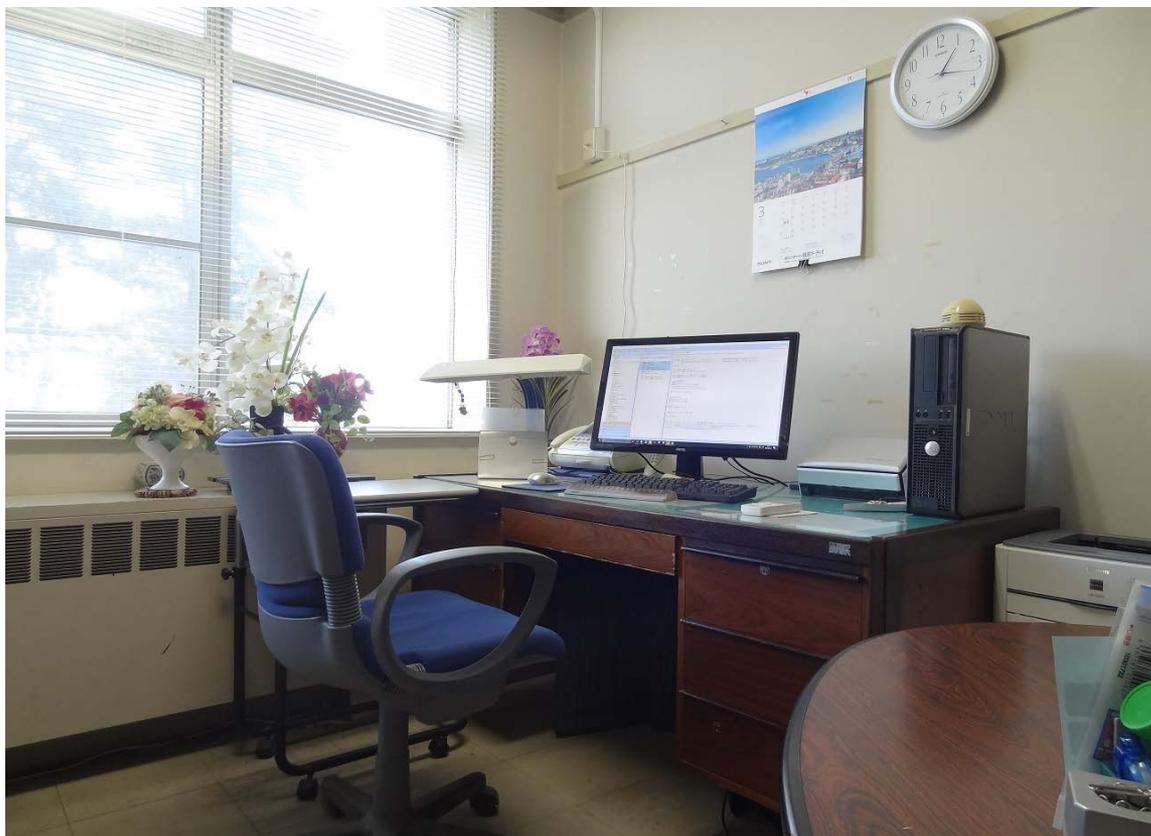
個別の指導計画に通常学級と家庭を明示

- 支援会議でPDCA

ともにかかわり続け、振り返りを通して次の目標へ

(地域の)インクルーシブ教育システム構築と、校内体制の整備を

# 長澤研究室



<http://www.ed.niigata-u.ac.jp/~nagasawa/>

特別支援教育・発達障害の情報、資料。FB、Twitter